

予算議会お疲れ様でした。異動対策など年度末も奮闘を！

予算議会での奮闘お疲れ様でした。新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、議会でもイレギュラーな対応に大変だったと思います。引き続き、住民の苦難に寄り添いませう。

う。党勢拡大・異動対策もがんばりましょう。

議会と自治体4月号 田中設楽町議の補聴器助成実現の記事が掲載。岡寄郁子新自治体局長のインタビューもぜひ！

議会でも広がる共同！あちこちで



犬山市 核兵器禁止条約の批准を国に求める意見書を11対7で可決採択 岩倉市・設楽町・大口町に続き4番目

ヒバクシャの声を世界が聞いた



日本こそ参加を

犬山市議会は23日、愛知県原水爆被災者の会から提出された「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」を賛成11×反対7で可決しました。

この請願は、昨年秋の被爆者行脚の際に提出されたもの。12月の総務委員会では継続審査に。その後、委員会として大村義則愛友会副理事長を招き勉強会を開催、3月の総務委員会（岡村委員長）では4対1で採択。本会議では令和新政クラブ2・清風会4・無所属2・共産党3の計11名に賛同が広がり採択にこぎつけました。

弥富市 市長が議長を訴える異例の展開 市有地不法占拠の議長を提訴！ 提訴議案は6名退席、8名で可決

弥富市議会は24日、大原議長を市有地の不法占拠で訴える議案を賛成8、退席6で可決。退席した6名は、水面下で予算案を否決する動きを見せて市長に議案の撤回を迫りましたが、最終的には、裁判費用も計上した一般会計予算案に賛成しました。

党市議団は、市有地にはみ出してマンションを建設し長年にわたり不法占拠してきた大原議員の態度を厳しく批判。2月の議会選挙では保守派及び大原議員が大きく得票を減らす要因となりました。

住民監査請求を受けて市監査委員からは市長に対し、「2年以内に現状に戻して返還させるとともに、不当利益約183万円の返還を求める」よう勧告しており、今回の提訴はこの要求を議長が拒んだためです。

こんな人物が議長に選ばれたこと自体が問題です。

二名の党議員団は粘り強く他会派にも働きかけ、議会での共同を広げてきました。保守会派から離脱する議員も出て、自民・公明を追い込み提議案を可決できました。議会閉会後は、議員5名の連名で議長に直接、辞職を迫りました。

NHKニュースでも報道された弥富市議会の異常事態をただすために党議員団の値打ちが光ります。

瀬戸市 県下全自治体にある障害者手当を廃止 12月議会は党議員3名の反対→3月議会は6名で修正案提出へ

非課税の障害者約5千人に月額2千円～2千5百円の手当を支給する瀬戸市障害者手当を10月から廃止する条例が強行されました。

愛知県下の全自治体は、障害者への独自手当を支給しています。廃止は県下で初めて。他自治体でも同様の動きがないか、警戒を要します。

行革推進、現金給付は時代遅れ、との廃止論に当事者や家族・市民は「瀬戸市障害者手当のこれからの考える会」を結成し障害者と家族の生活実態を見れば、いまでこそ必要な手当でだと請願署名、市長要請、市役所前抗議行動とがんばりました。

党市議団は12月議会で請願紹介議員となり奮闘。不採択後も粘り強く他会派の議員へも理解を求め、3月議会では6名の議員で共同修正案の提出までこぎつけました。廃止賛成派から、市民の意見を聞いて新たな福祉施策をつくれ、と付帯決議の提案も。市民レベルでも議会でも新たな共同が広がりました。

4月22日に地区自治体部長会議

各自治体ごとの①予算議会のまとめ（特徴・質問・討論・意見書・請願・議案賛否・議会対応など）、②地区内の議員団の構成と会議開催状況を地区でまとめて県自治体部までお知らせください。